

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第88回)

平成30年10月～12月期 実績

平成31年 1月～3月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
全体D I 値について・・・・・・・・	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 （中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観）	

第82回・平成29年4～6月調査からは、依頼企業数を150社から270社へ増やすとともに、対象業種を6つに絞った（従来は10業種）。

これは、各地域・機関で行っている同様の調査結果と比較できるように工夫したもので、巻末に比較資料編を付けてある。

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 平成30年12月
- ② 調査対象期間 今期（平成30年10月～12月期）に対する前期（平成30年7月～9月期）及び前年同期（平成29年10月～12月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて案分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数	回答数	回答率
全体	270	→ 215	(79.63%)
輸送機器	40	→ 35	(87.5%)
その他製造	40	→ 37	(92.5%)
建設業	50	→ 38	(76.0%)
卸売業	30	→ 23	(76.7%)
小売業	40	→ 31	(77.5%)
サービス業	70	→ 51	(72.9%)

5. D I 値について

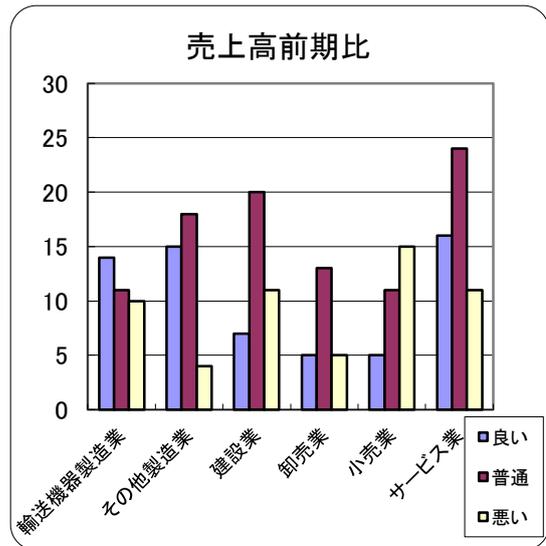
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

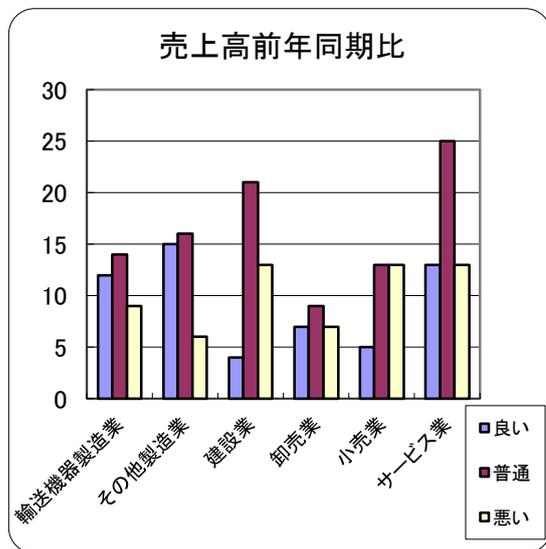
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	14	11	10	35	11.4
その他製造業	15	18	4	37	29.7
建設業	7	20	11	38	▲ 10.5
卸売業	5	13	5	23	0.0
小売業	5	11	15	31	▲ 32.3
サービス業	16	24	11	51	9.8
合計	62	97	56	215	2.8



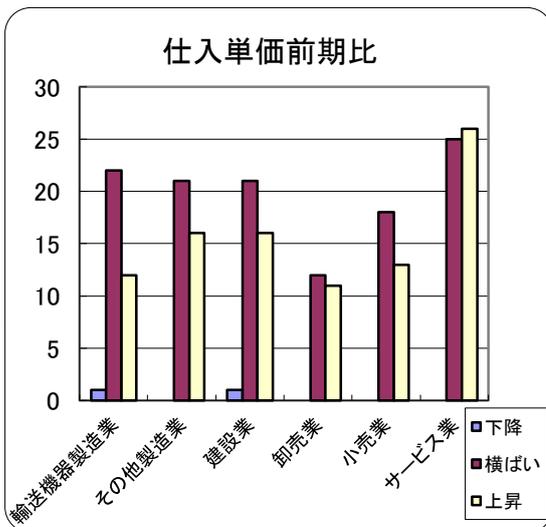
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	12	14	9	35	8.6
その他製造業	15	16	6	37	24.3
建設業	4	21	13	38	▲ 23.7
卸売業	7	9	7	23	0.0
小売業	5	13	13	31	▲ 25.8
サービス業	13	25	13	51	0.0
合計	56	98	61	215	▲ 2.3



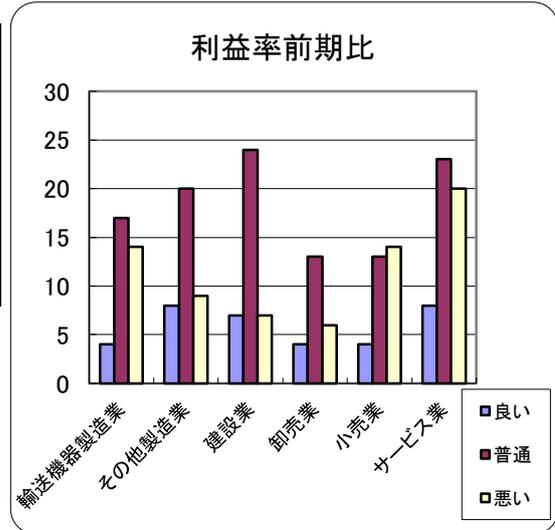
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	1	22	12	35	▲ 31.4
その他製造業	0	21	16	37	▲ 43.2
建設業	1	21	16	38	▲ 39.5
卸売業	0	12	11	23	▲ 47.8
小売業	0	18	13	31	▲ 41.9
サービス業	0	25	26	51	▲ 51.0
合計	2	119	94	215	▲ 42.8



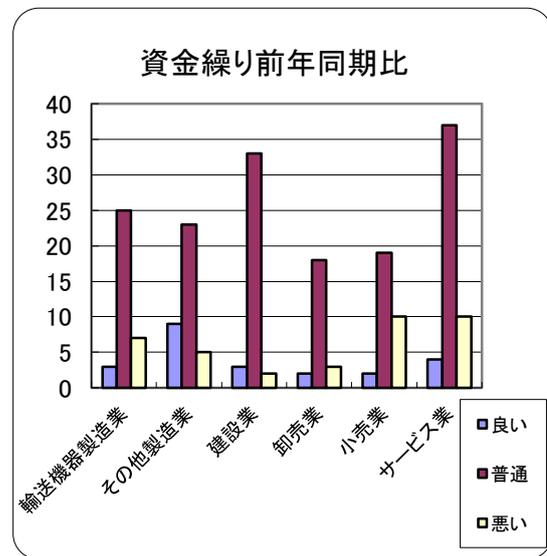
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	17	14	35	▲ 28.6
その他製造業	8	20	9	37	▲ 2.7
建設業	7	24	7	38	0.0
卸売業	4	13	6	23	▲ 8.7
小売業	4	13	14	31	▲ 32.3
サービス業	8	23	20	51	▲ 23.5
合計	35	110	70	215	▲ 16.3



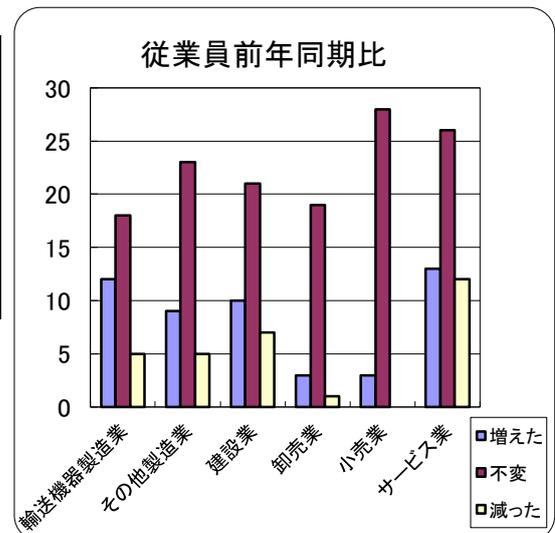
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	25	7	35	▲ 11.4
その他製造業	9	23	5	37	10.8
建設業	3	33	2	38	2.6
卸売業	2	18	3	23	▲ 4.3
小売業	2	19	10	31	▲ 25.8
サービス業	4	37	10	51	▲ 11.8
合計	23	155	37	215	▲ 6.5



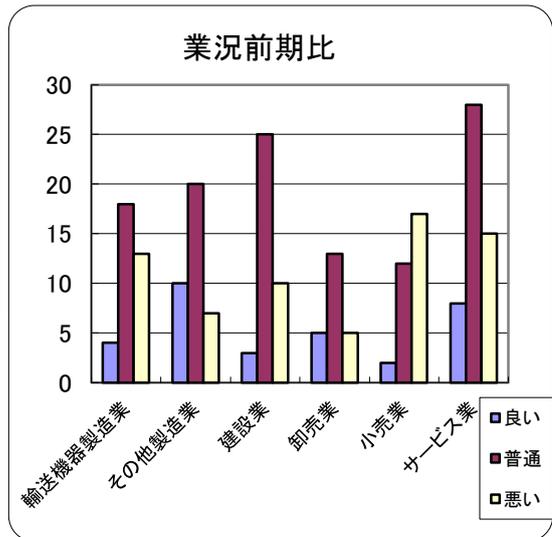
従業員前年同期比

	増えた	不変	減った	合計	DI値
輸送機器製造業	12	18	5	35	20.0
その他製造業	9	23	5	37	10.8
建設業	10	21	7	38	7.9
卸売業	3	19	1	23	8.7
小売業	3	28	0	31	9.7
サービス業	13	26	12	51	2.0
合計	50	135	30	215	9.3



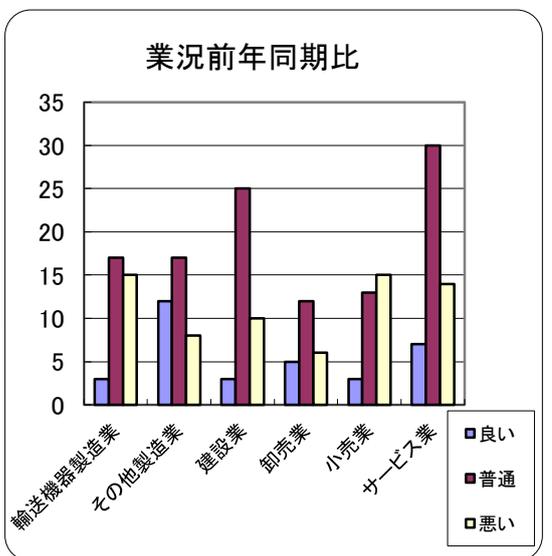
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	18	13	35	▲ 25.7
その他製造業	10	20	7	37	8.1
建設業	3	25	10	38	▲ 18.4
卸売業	5	13	5	23	0.0
小売業	2	12	17	31	▲ 48.4
サービス業	8	28	15	51	▲ 13.7
合計	32	116	67	215	▲ 16.3



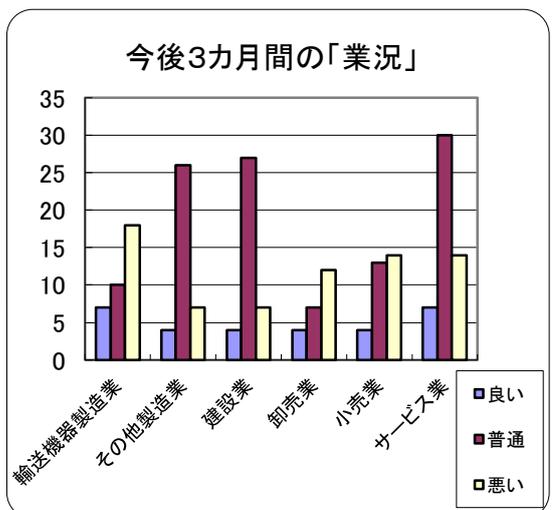
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	17	15	35	▲ 34.3
その他製造業	12	17	8	37	10.8
建設業	3	25	10	38	▲ 18.4
卸売業	5	12	6	23	▲ 4.3
小売業	3	13	15	31	▲ 38.7
サービス業	7	30	14	51	▲ 13.7
合計	33	114	68	215	▲ 16.3



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	10	18	35	▲ 31.4
その他製造業	4	26	7	37	▲ 8.1
建設業	4	27	7	38	▲ 7.9
卸売業	4	7	12	23	▲ 34.8
小売業	4	13	14	31	▲ 32.3
サービス業	7	30	14	51	▲ 13.7
合計	30	113	72	215	▲ 19.5



(2)業種別DI値について

《売上高は堅調に推移しているが、材料費の高値推移による仕入単価の上昇や人手不足傾向は変わらず、業況(景況)感は悪い状況》

輸送機器	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	5.7	11.4	5.7
売上高前年同期比	▲ 2.9	8.6	11.5
仕入単価前期比	▲ 20.0	▲ 31.4	▲ 11.4
利益率前期比	▲ 14.3	▲ 28.6	▲ 14.3
資金繰り前年同期比	▲ 2.9	▲ 11.4	▲ 8.5
従業員前年同期比	28.6	20.0	▲ 8.6
業況前期比	2.9	▲ 25.7	▲ 28.6
業況前年同期比	▲ 5.7	▲ 34.3	▲ 28.6
今後3ヶ月間の業況見通し	17.1	▲ 31.4	▲ 48.5

[企業コメントより]

- ・全体に金型が増加傾向になった。今期(30/10~31/9月)が勝負と考えています。【治具設計・製作】
- ・自動車品質問題、米課税、米中問題が懸念リスクと考えます。【部品製造】
- ・開発計画通りに進めば、業況見通しは明るい。【部品製造】
- ・自動車関連の開発が止まっている様です。動くのは来年になるとの情報もあり。【金型設計・製作】
- ・得意先より安定した発注がある。材料等全て支給され支払いがほぼない。【金型設計・製作】
- ・自動車産業をとりまく諸々の問題もあり、仕事量としては前年並で推移しています。また、”働き方改革”を考慮すると現状は静観しておくのが得策と思えます。【部品製造】
- ・生産性アップと社内の内製代(により売上・利益率UP)。【金属加工】
- ・スバルの減産が今後3ヶ月の業況を悪化させそうです。4月以後は増産になる予定。【内装部品製造】

その他製造業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	11.4	29.7	18.3
売上高前年同期比	5.7	24.3	18.6
仕入単価前期比	▲ 42.9	▲ 43.2	▲ 0.3
利益率前期比	▲ 14.3	▲ 2.7	11.6
資金繰り前年同期比	0.0	10.8	10.8
従業員前年同期比	17.1	10.8	▲ 6.3
業況前期比	11.4	8.1	▲ 3.3
業況前年同期比	8.6	10.8	2.2
今後3ヶ月間の業況見通し	8.6	▲ 8.1	▲ 16.7

[企業コメントより]

- ・今年は暖冬で消費が低迷している。【衣料品製造】
- ・一部取引先が生産調整に入ったため、2月~3月まで悪い。【プラスチック製造】
- ・新規の取引先からの受注が堅調に推移した。【産業用機械製造】
- ・売上高は減少、仕入はコストアップ、人件費も高騰しており厳しい極面を迎えています。トランプ不況、働き方改革不況の突入のように思われます。【食品製造業】
- ・あの手、この手を尽くしているが先行き不透明。【畳製造】
- ・建設機械向けの需要が増大していますので、対応に精一杯だと思います。【金属部品製造】
- ・仕入単価の上昇が激しい。【梱包材製造】

建設業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	0.0	▲ 10.5	▲ 10.5
売上高前年同期比	▲ 5.6	▲ 23.7	▲ 18.1
仕入単価前期比	▲ 30.6	▲ 39.5	▲ 8.9
利益率前期比	▲ 13.9	0.0	13.9
資金繰り前年同期比	0.0	2.6	2.6
従業員前年同期比	▲ 11.1	7.9	19.0
業況前期比	▲ 11.1	▲ 18.4	▲ 7.3
業況前年同期比	▲ 11.1	▲ 18.4	▲ 7.3
今後3ヶ月間の業況見通し	11.1	▲ 7.9	▲ 19.0

[企業コメントより]

・公共工事の発注が少ない。人手不足。若手技術者が入らない。労務単価をさらに上げて欲しい。

【総合建設業】

・地方中小企業とりわけ群馬県東毛地区では設備投資が減少している感は否めない。景気感は鈍っている。【総合建設業】

・人材不足や材料等の納期遅れが発生し、下降傾向にある。【造園業】

・従業員減が売上高を下げている原因です。人員確保が大きな課題です。【造園業】

・競合他社が増えた。得意先の販売力が減少。【住宅設備工事】

・人手不足。【建築工事業】

卸売業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 4.2	0.0	4.2
売上高前年同期比	4.2	0.0	▲ 4.2
仕入単価前期比	▲ 62.5	▲ 47.8	14.7
利益率前期比	▲ 16.7	▲ 8.7	8.0
資金繰り前年同期比	0.0	▲ 4.3	▲ 4.3
従業員前年同期比	12.5	8.7	▲ 3.8
業況前期比	0.0	0.0	0.0
業況前年同期比	▲ 4.2	▲ 4.3	▲ 0.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 12.5	▲ 34.8	▲ 22.3

[企業コメントより]

・得意先の設計志向の変更や社内工数の削減(管理工数・現場工数)に伴い、使用部品の追加工を求められたが、当社取扱いのメーカーでは対応が出来ず、対応可能な他メーカーに切り替えられてしまった。同様に自社調達して内製化していたものも、一部外注加工に移行。外注先が遠地でもあり、当社としては取引もなく、フォロー不可となっている。これらの変更に伴う影響は今後ますます厳しくなると思われる。【建材卸売業】

・人手不足、材料値上げで仕事量は十分だが、売上、利益率共に良くなる。【建材卸売業】

・国の抑制策と競争が激化し、市場価格が厳しくなっております。【医療機器卸売業】

・新規事業参入により、研修期間中の為、人件費等費用が増えるも売上がない為。今後の事業展開に期待したい。【飲料品卸売業】

・スーパーの売上が減少したがレストランへの納めが増えたので、横ばいになっている。【食肉卸売業】

小売業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 34.4	▲ 32.3	2.1
売上高前年同期比	▲ 21.9	▲ 25.8	▲ 3.9
仕入単価前期比	▲ 25.0	▲ 41.9	▲ 16.9
利益率前期比	▲ 28.1	▲ 32.3	▲ 4.2
資金繰り前年同期比	▲ 12.5	▲ 25.8	▲ 13.3
従業員前年同期比	▲ 3.1	9.7	12.8
業況前期比	▲ 43.8	▲ 48.4	▲ 4.6
業況前年同期比	▲ 28.1	▲ 38.7	▲ 10.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 25.0	▲ 32.3	▲ 7.3

[企業コメントより]

- ・消費者の購買意欲が少ない。価格にシビアになっている。サイフのひもが固いためか?【日用雑貨販売】
- ・来客数は多いが、1件(一人)当たりの売上単価が少ない。各イベントについても5~6年前に比べると売上高は60%です。【食料品販売業】
- ・30年9月下旬に新店舗になったため(良い)と思われます。【食料品販売業】
- ・仕入単価は、物流コストの上昇によりまた少しずつ上昇しています。利益を出すことが大変になってきていると思います。クリスマスの繁忙期に入るので、来店されるお客様1人1人に対して丁寧な接客をしていきたいと思っています。【菓子販売業】
- ・夏の暑さと雨季の遅れで野菜類が不足、小売りに変化有。【食料品販売業】
- ・小売業の為、売上高維持の為、販促費を投入しております。人件費、販促費(広告宣伝費)の上昇、売上のキャッシュレス化に伴って入金時期が遅くなり資金繰りに影響が出ています。また、クレジット手数料の増加も利益を圧迫しています。【化粧品等販売業】
- ・10月~12月はシーズン面で商品の出荷量が前期より少なくなる為、売上は減少します。【衣料品販売】
- ・猛暑及びスバルの影響か、卸しが減少した。【食料品販売業】
- ・10月はよかったが11月のへこみが響いた。12月は好スタートではない。【酒類販売業】
- ・前年と比較して大きな変化は有りません。【米穀販売業】
- ・年々売上、利益は少なく、見通しは悪いです。【仏具販売業】
- ・ネット売り上げは横ばいだが、店舗売り上げが良い。手巻きたばこ関係が増加している。【たばこ販売業】

サービス業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	10.2	9.8	▲ 0.4
売上高前年同期比	0.0	0.0	0.0
仕入単価前期比	▲ 40.8	▲ 51.0	▲ 10.2
利益率前期比	▲ 24.5	▲ 23.5	1.0
資金繰り前年同期比	▲ 6.1	▲ 11.8	▲ 5.7
従業員前年同期比	2.0	2.0	0.0
業況前期比	6.1	▲ 13.7	▲ 19.8
業況前年同期比	▲ 6.1	▲ 13.7	▲ 7.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 4.1	▲ 13.7	▲ 9.6

[企業コメントより]

- ・広告宣伝の必要性を感じていただけるクライアントが増えた事。【放送サービス】
- ・2018.10.1より運賃改定。採算は良くなった。スバルの不正発覚、大規模リコールの影響で販売微減。乗務員が高齢化し、病気など体調の関係で、売り上げも伸びない。【運送業】
- ・増車、増員の為(売上等UP)【運送業】
- ・燃料代が相変わらず高止まりしているので、利益を出せない状況が続いています。得意先売上げ単価は一年に一回しか更改できない慣習のようで。【運送業】
- ・仕入単価が毎月のように様々な品物について値上がりしています。特にイカ、チーズ類なのでやりくりが大変です。【飲食業】

<サービス業コメント続き>

・前期は年間の最盛期のため、今期の売上減少は毎年のことになっている。お客様の流れからしてあらがえないところはあるが、毎年この時期の落ち込みはどう防ごうかと頭を悩ませている。主要の仕入が年末に向け高騰する。これも例年の流れ。買わないことには商売にならないので高くても買う。値上げ幅は15%増といった所か。前年同期よりも客数が少ない。要因が内部か外部かは断定できていない。人件費高も悩ましい。飲食店向けのテーブルオーダー端末の必要性も認識している。生産性を上げ、利益を残すにはどうしたら良いか、情報が欲しい。【飲食業】

・利用客数が減少している。お客様本意のサービスが必要と考えます。宴会数の減少もあるのではないかと。【飲食等サービス】

・2019年1月より中国が鉄くずの輸入禁止を発令する事が濃厚となりつつある。それによって何が起こるかと言うと、日本国内の鉄くずの大幅な下落が予想される。本年1月より雑家電や雑機械、紙類など輸入禁止になり、大幅な下落と荷物の行き場所がなくなり大混乱を招いている状況。この先のリサイクルの優等生の扱いがどうなるかによって、我々業界の死活問題となりうるかもしれない。【産廃処理業】

・太田駅北口などでイベントなどが多くなってきているので、多少人の出は増えると思う。人手不足、最低時給が上がるのは痛い。【飲食業】

・人材不足。募集しても良い人材が来ない。【建物サービス業】

・急激な価格の高騰や下落で精神的につかれました。暖冬で灯油が売れていません。【ガソリンスタンド】

・アイス等も値上げが始まってしまった。缶詰系も値上げされてしまった。原材料が上がってしまったので4月くらいに改定はしようかと。【飲食業】

(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 0.5	2.8	3.3
売上高前年同期比	▲ 3.3	▲ 2.3	1.0
仕入単価前期比	▲ 36.0	▲ 42.8	▲ 6.8
利益率前期比	▲ 19.0	▲ 16.3	2.7
資金繰り前年同期比	▲ 3.8	▲ 6.5	▲ 2.7
従業員前年同期比	7.1	9.3	2.2
業況前期比	▲ 4.7	▲ 16.3	▲ 11.6
業況前年同期比	▲ 7.6	▲ 16.3	▲ 8.7
今後3ヶ月間の業況見通し	0.0	▲ 19.5	▲ 19.5

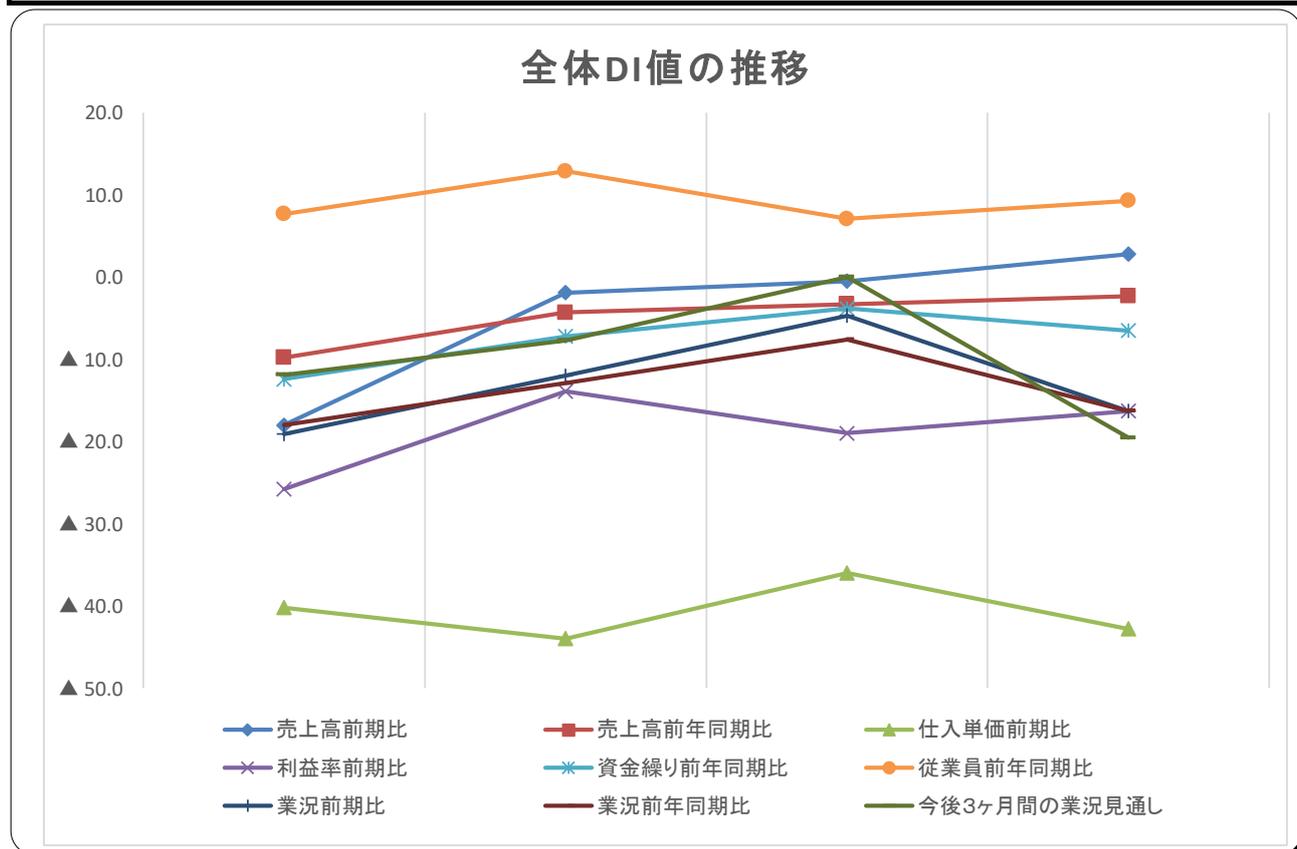
【 動 向 】

今回の調査では、建設業で一部悪化したものの、売上高(受注)が対前期比・前年同期比とも堅調に推移した。

一方、仕入単価及び従業員は、依然として厳しい水準(仕入単価高騰、人材不足)が続いている。

その結果、ほぼ全ての業種で業況(景況)感が悪化しており、今後3ヶ月間の業況見通しも、すべての業種で悲観的な見方が強まっている。

全 体 D I 値 の 推 移	2018.1-3期	2018.4-6期	2018.7-9期	2018.10-12期
売上高前期比	▲ 18.0	▲ 1.9	▲ 0.5	2.8
売上高前年同期比	▲ 9.8	▲ 4.3	▲ 3.3	▲ 2.3
仕入単価前期比	▲ 40.2	▲ 44.0	▲ 36.0	▲ 42.8
利益率前期比	▲ 25.8	▲ 13.9	▲ 19.0	▲ 16.3
資金繰り前年同期比	▲ 12.4	▲ 7.2	▲ 3.8	▲ 6.5
従業員前年同期比	7.7	12.9	7.1	9.3
業況前期比	▲ 19.1	▲ 12.0	▲ 4.7	▲ 16.3
業況前年同期比	▲ 18.0	▲ 12.9	▲ 7.6	▲ 16.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 11.9	▲ 7.7	0.0	▲ 19.5



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、10～12月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	20.8	▲ 9.1	－	－
建設業	▲ 10.5	▲ 3.2	－	－
卸売業	0.0	▲ 7.6	－	－
小売業	▲ 32.3	▲ 20.5	－	－
サービス業	9.8	▲ 11.5	－	－
全体	2.8	▲ 11.9	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	16.7	－	1.1	1.7
建設業	▲ 23.7	－	▲ 6.6	
卸売業	0.0	－	▲ 5.8	1.0
小売業	▲ 25.8	－	▲ 24.9	
サービス業	0.0	－	▲ 8.1	
全体	▲ 2.3	－	▲ 8.8	1.1

(↑非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 37.5	－	▲ 47.0	－
建設業	▲ 39.5	－	▲ 46.0	－
卸売業	▲ 47.8	－	▲ 40.7	－
小売業	▲ 41.9	－	▲ 34.0	－
サービス業	▲ 51.0	－	▲ 38.4	－
全体	▲ 42.8	－	▲ 41.2	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 15.3	▲ 16.3	▲ 10.5	0.6
建設業	0.0	▲ 11.8	▲ 11.0	
卸売業	▲ 8.7	▲ 16.8	▲ 8.4	
小売業	▲ 32.3	▲ 31.2	▲ 26.0	▲ 4.4
サービス業	▲ 23.5	▲ 21.4	▲ 16.5	
全体	▲ 16.3	▲ 21.0	▲ 15.1	▲ 3.0

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	0.0	▲ 9.1	▲ 7.4	17.0
建設業	2.6	▲ 2.1	▲ 4.6	
卸売業	▲ 4.3	▲ 6.8	▲ 3.0	
小売業	▲ 25.8	▲ 19.2	▲ 17.4	18.0
サービス業	▲ 11.8	▲ 11.6	▲ 8.7	
全体	▲ 6.5	▲ 11.4	▲ 8.9	17.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	15.3	▲ 1.4	－	－
建設業	7.9	▲ 3.4	－	－
卸売業	8.7	▲ 1.0	－	－
小売業	9.7	▲ 6.2	－	－
サービス業	2.0	▲ 6.3	－	－
全体	9.3	▲ 4.3	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

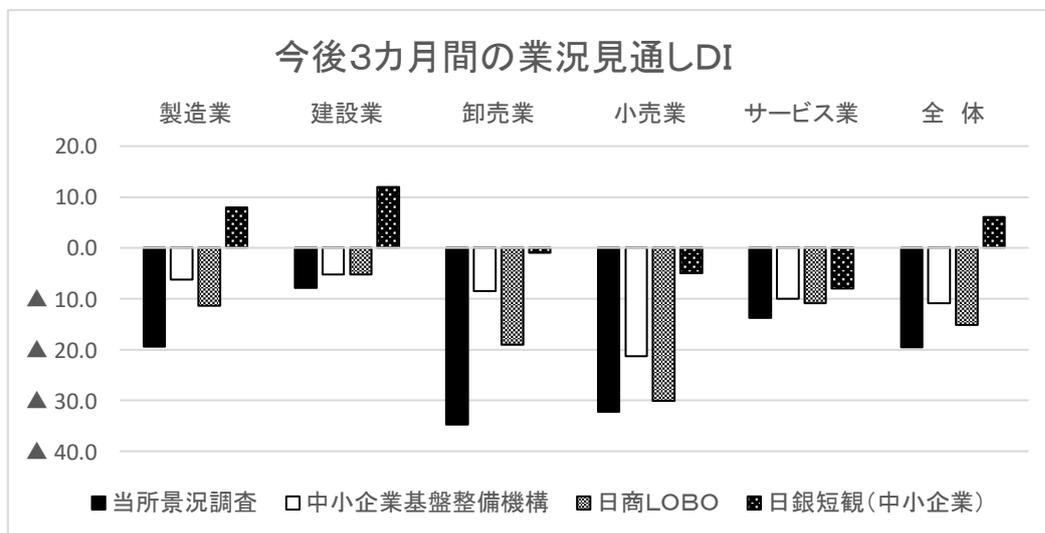
	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 8.3	▲ 10.2	－	14.0
建設業	▲ 18.4	▲ 2.7	－	19.0
卸売業	0.0	▲ 9.1	－	6.0
小売業	▲ 48.4	▲ 24.3	－	▲ 10.0
サービス業	▲ 13.7	▲ 14.1	－	▲ 4.0
全体	▲ 16.3	▲ 13.8	－	12.0

⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 11.1	－	▲ 10.0	－
建設業	▲ 18.4	－	▲ 9.6	－
卸売業	▲ 4.3	－	▲ 17.1	－
小売業	▲ 38.7	－	▲ 30.0	－
サービス業	▲ 13.7	－	▲ 13.6	－
全体	▲ 16.3	－	▲ 15.9	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 19.4	▲ 6.2	▲ 11.4	8.0
建設業	▲ 7.9	▲ 5.2	▲ 5.2	12.0
卸売業	▲ 34.8	▲ 8.5	▲ 19.0	▲ 1.0
小売業	▲ 32.3	▲ 21.3	▲ 30.1	▲ 5.0
サービス業	▲ 13.7	▲ 10.0	▲ 10.9	▲ 8.0
全体	▲ 19.5	▲ 10.9	▲ 15.1	6.0



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2019年(平成31年)1月7日 発行